

# RaySafe i2

リアルタイム被曝測定システム



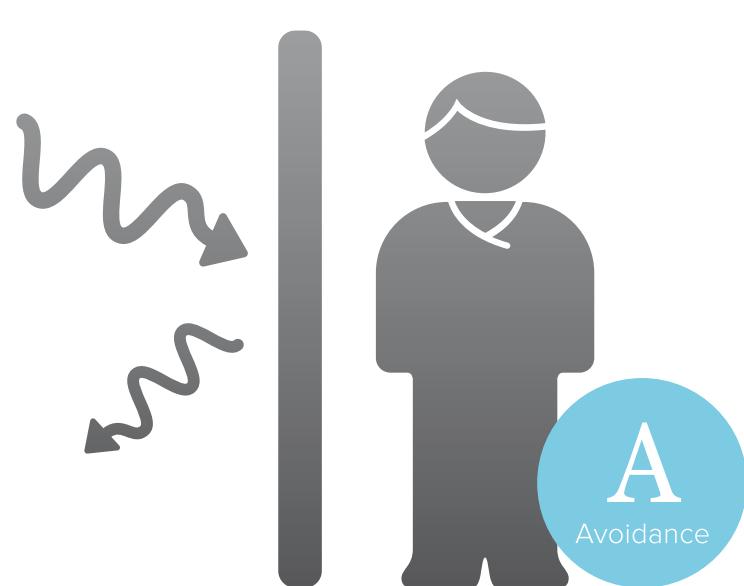


## 炭鉱のカナリア のように

昔の炭鉱では、危険予知のためにカナリアを使用していました。炭鉱労働者は、カナリアが鳴かなくなることで炭鉱内の有害ガス濃度が急激に高まったことを知り、炭鉱を出る目安にしていました。

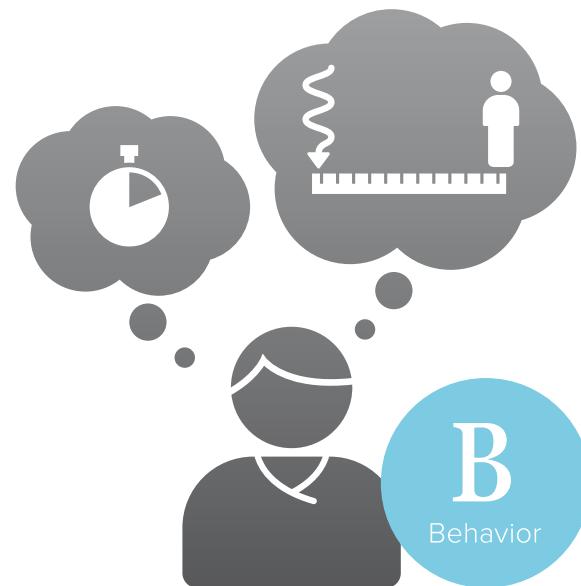
現代の手術室でカナリアの役目をするのがRaySafe i2です。正確で分かりやすい被曝情報をリアルタイムに提供することにより、RaySafe i2は、医療スタッフ自身による不必要な被曝回避を目的とした作業方法の改善を支援します。

# 放射線に対する安全性確保の手引き



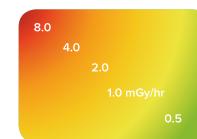
防護服やシールドスクリーンの使用

鉛エプロン、甲状腺防護カラー、防護メガネ、天井吊下げスクリーン、テーブル取り付け式鉛カーテンなどの防護服および防護装置は、放射線被曝対策の第一歩です。個人線量計および線量測定も、被曝線量の監視や被曝の制限を支援する目的で使用されます。



X線照射環境での正しい行動に対する意識

放射線防護の見地から望ましい行動により、スタッフと患者の被曝を最小限に抑えることができます。可能な限り、放射線源から離れ、被曝時間を短くします。また、一般的に散乱線量が低いX線検出器の側に位置することも推奨されます。最後に、適切な装置を適切なテクニックで使用し、確実にX線の視準を合わ



多くの場合、個人線量計の使用は必須ですが、それらはリアルタイムに被曝データを提供しません。RaySafe i2

せ、放射線源を寝台の下に維持します。

被曝は、それを理解することにより容易に抑制できるようになります。



X線被曝の理解と制御

のようにアクティブな個人線量計のみが、信頼性の高い放射線被曝情報をリアルタイムで提供します。医療スタッフは、その測定値に基づいて被曝線量を減らすために何をすべきかを即座に判断できます。

# RaySafe i2が実現する 放射線に対する安全性



## i2 個人線量計

被曝線量を一秒ごとに測定記録する個人線量計です。データは、i2リアルタイムディスプレイにワイヤレスで転送されます。メンテナンスフリーで、着用しやすく、自由に名前を設定したり色を選択することができます。

RaySafe i2 システムは、放射線に対する安全性確保に必要な不可欠な装置です。この装置を使用することにより、医療スタッフと管理者の双方が詳細な被曝情報を得ることができます。さらに、不必要な被曝を心配することなく患者の診断や治療に集中できます。

RaySafe i2  
システムの主な構成部品：

- i2 個人線量計
- i2 リアルタイムディスプレイ
- i2 被曝線量ビューアソフトウェア
- i2 被曝線量マネージャソフトウェア

## i2 リアルタイムディスプレイ

10.4 インチのタッチスクリーンですべての個人線量計の被曝データをリアルタイムに表示します。緑、黄、赤のバーは、個々のユーザーごとの被曝の程度を示し、累積線量はバーの横に表示されます。

タッチスクリーン上で個人線量計の名前をタップすると、個人の被曝履歴に関する詳細情報にアクセスできます。



## i2 ソフトウェア

RaySafe i2 被曝線量ビューアは、個人線量計を管理し、個人の被曝情報を表示するときに使用されます。さらに詳しい被曝情報の分析、レポート、保管を行う場合は、RaySafe i2 被曝線量マネージャを使用します。線量マネージャは、複数の個人線量計を管理し、病院のネットワークまたはUSBストレージを経由して複数のリアルタイムディスプレイから被曝情報を取得することができます。



## QRコードをスキャンすると RaySafe i2 の詳細がご覧いただけます

誰もが放射線の危険性への懸念から開放されなければなりません。

炭鉱のカナリアのように、RaySafe ソリューションは、人間の感覚では検出可能な健康への脅威からのユーザーの保護を支援します。正確で読み取りやすい測定値は、さらなる予防策を講じるか否かの決定を支援します。最先端で革新的な技術にシンプルで直感的な感覚を組み合わせるといふ哲学により、当社は医療分野の放射線測定ソリューションで世界をリードするサプライヤになりました。

RaySafe は、不要な放射線被曝の回避を支援します。

Unfors はRaySafeに社名を変更しました。  
[www.raysafe.com](http://www.raysafe.com)

